

2010年9月15日

各 位

東セロ株式会社  
株式会社プライムポリマー  
三井化学株式会社

東セロによる新製品エルスマート®の開発について  
(三井化学グループのフィルム・シート事業強化拡大に向けた取組み)

東セロ株式会社（以下、東セロ 本社：東京都中央区、社長：宮脇 良治）は、この度、新規高機能フィルム エルスマート®の開発に成功、製品化しましたのでお知らせいたします。エルスマート®の原料は、同じ三井化学グループの株式会社プライムポリマー（以下、プライムポリマー 本社：東京都港区、社長：大多和 保彦）が供給する高機能ポリエチレン エボリユール®です。親会社の三井化学株式会社（以下、三井化学 本社：東京都港区、社長：田中 稔一）は、グループ内フィルム・シート事業の強化拡大を進めており、本件は、グループ内のシナジーが発揮された大きな成果の一つであります。

1. 新製品「エルスマート®」について

東セロは、独自の製膜技術を駆使して、高機能ポリエチレンフィルムである新製品エルスマート®の開発に成功、製品化いたしました。  
エルスマート®の概要については以下のとおりです。

- ・エルスマート®は、シーラント（※）フィルムとして使用した場合、従来のＬ－ＬＤＰＥ（直鎖状低密度ポリエチレン）フィルムに比較して、内容物の味や臭気に及ぼす影響が少ない上、剛性・耐ピンホール性・易カット性を飛躍的に向上させることに成功しております。

（※）シーラント： 包装材の内面に接着層として使用されるフィルムのこと。

包装材はそれぞれ機能の異なるフィルムを、複数ラミネート（積層）して使用することが多く、シーラントは、フィルムを袋状にする際に、外側からの加熱・圧力によって溶融しフィルム同士を接着する役割を担う。

- ・高い剛性を持つことから、包装材の大幅な薄肉化も可能となり、幅広い用途展開やフィルム構成の簡素化が期待されます。例えば、シーラントへの使用例では、厚さ60μのＬ－ＬＤＰＥフィルムと比較した場合、エルスマート®は、厚さ30～40μでほぼ同等の剛性を保持できます。また、包装材の薄肉化により原料使用量及び使用後の廃棄物量の減量化が図られるため、省資源及び環境負荷軽減に貢献する環境対応型製品ともいえます。

- ・耐ピンホール性評価（ゲルボフレックス試験）では、30 $\mu$ のエルススマート<sup>®</sup>は、60 $\mu$ のL-LDPEフィルム以上の耐ピンホール性能を有しており、従来品以上の物理的強度を発揮します。
- ・現在、包装業界では、環境負荷軽減を目指して包装材の軽量化・薄肉化が喫緊の課題となっており、エルスマート<sup>®</sup>の持つ特性をお客様に提供することにより、お客様の製品価値向上及びトータルコストダウンに貢献できます。
- ・食品包装のみならず非食品分野への展開も図ることにより、40億円/年の売上高を目指します。

## 2. 原料ポリエチレン「エボリュー<sup>®</sup>」について

エルスマート<sup>®</sup>に使用する原料ポリエチレンは、プライムポリマーが供給するメタロセン直鎖状低密度ポリエチレン エボリュー<sup>®</sup>です。エボリュー<sup>®</sup>の概要については以下のとおりです。

- ・エボリュー<sup>®</sup>は、独自のメタロセン触媒技術と多段重合プロセスにより製造されたポリエチレンです。この技術により、フィルムの成形が容易になる他、得られるフィルムに剛性・強度の両方を持たせることができるため、薄肉化に大きな威力を発揮します。
  - ・また、エボリュー<sup>®</sup>は、シール強度・低フィッシュアイ・低臭といったシーラントに不可欠な特徴を有しているため、現在、日本及びアジアにおいて食品、生活用品向けの高機能包装材を中心にシェアを拡大しています。特にアジアでは、経済成長や生活習慣の変化に伴って包装材の高機能化が急速に進んでおり、エボリューの大幅な需要拡大が期待されます。
  - ・プライムポリマーでは、このシーラント市場におけるエボリュー<sup>®</sup>の需要拡大に応えるべく、市原工場における生産能力24万ト/年を2011年末までに6万ト/年増強し、30万ト/年とする予定です。
- また、アジアでのマーケティング力強化のため、エボリューの営業拠点を従来からあるシンガポールに加えて昨年4月より中国/上海にも設置し、市場開発を加速しています。

### 3. 三井化学グループのフィルム・シート事業強化拡大に向けた取組みについて

三井化学グループは、フィルム・シート事業強化拡大の更なるスピードアップを図るべく、以下の取組みを実行中です。

- ・ 昨年4月、三井化学は東セロを完全子会社化し、次のとおり両社の連携を強化しました。
  - ① 樹脂からフィルムまでの一貫体制構築による製品開発力強化、コスト競争力強化
  - ② 迅速な意思決定と経営戦略の共有による柔軟かつ効率的な経営の実施
  - ③ 東セロを中心としたグループ内フィルム・シート事業のシナジー最大化による事業強化拡大
- ・ 本年10月、三井化学グループ内に分散しているフィルム・シート事業を東セロを中心として集約統合し、新会社「三井化学東セロ株式会社」を設立します。本統合により、経営資源の集中投入と統合効果の最大化を図り、経営・事業基盤の強化と社会・環境ニーズに合致した高付加価値製品の拡大を目指します。

[本件に関するお問い合わせ先]

東セロ株式会社 包装フィルム開発室	電話：03-3272-3535
株式会社プライムポリマー 企画管理部	電話：03-6253-4520
三井化学株式会社 IR・広報部	電話：03-6253-2100

以 上